

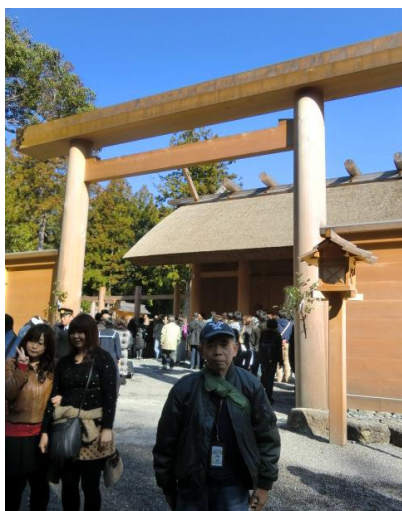
第5節 4日目：3月23日（日）：参宮線（伊勢市～多気） 多気～松坂 快晴

伊勢市（8:50）～山田上口（10:01）～宮川（11:02）～田丸（12:56）～外城田（ときだ、14:11）
～多気（15:28）～徳和（17:34）～松坂（18:29）

本日は6時前起床。7時にロビーで朝食済ませ、松阪7時52分発の電車で伊勢市に向かう。伊勢市まで400円だが、青春18きっぷを活用する。1枚だけ残してチケット屋に売った方が得したかも知れないが……。伊勢市には8時50分到着。伊勢神宮をお参りして、伊勢市駅には9時25分戻る。1km続くアーケードがある商店街を通る。半分位はシャッターが閉まっていた。9時45分、商店街通りを出るや否や百互銀行があった。10時1分、本日最初の山田上口駅に到着。多数の民家の玄関には伊勢神宮縁の笑門が飾られていた。最初、何かと思って住人に伺って正体がわかる。10時22分、715歩ある宮川橋（昭和28年9月架橋）を渡る。10時53分、離宮院公園（小俣ふれあい）前を通過。離宮道踏切を横切り鉄道の右側に。宮川駅には11時2分到着。この駅にも伊勢神宮からの笑門が飾られていた。11時6分、掛橋踏切を横切る。11時46分、湯田野第一踏切辺りで下り電車（1両編成）をデジカメに収める。11時56分、伊勢市から玉城町となる。12時23分、“さんておーる食堂”でかき揚げうどんを頂く。うどんはさぬきうどん風であった。セルフサービスの店であった。隣には、身体障害者の施設があった。



伊勢市駅



伊勢市駅スタート

12 時 46 分、60 歩ある永楽橋〔外城田川〕を渡る。12 時 52 分、勝田踏切を横切り鉄道の右側に。12 時 56 分、田丸駅に到着。駅前には粘土を使用してできた旅人の姿があった。池に面した田丸幼稚園があった。桜の並木が 100m 続く池に沿ってあった。13 時 9 分、城山架橋橋を潜り、鉄道の右側に出る。13 時 32 分、羽根踏切を横切り、鉄道の右側を。14 時 1 分、行き止まりの看板を見つけ、前川踏切（14 時 2 分）を横切り鉄道の左側を。14 時 11 分、外城田駅に到着。



山田上口駅



宮川駅



笑門



さんておーる食堂



田丸駅



外城田駅



多気駅への路

この近郊ではしろかきが始まっていた。田植えが 4 月の中旬頃にあるのかも知れない。14 時 40 分、土羽北バス停前(多気町町民バス)を通過。15 時 1 分、第四東池上踏切を横切る。道路標識は直進にもかかわらず、線路沿いを歩く。この鉄道は紀勢本線で新宮方面に続く鉄道であった。そして、土手にぶつかるまで歩く。15 時 16 分であった。それから、土手に沿って 500m 位歩く。橋を渡ろうとしたところ、自分が誤っていることに気がつく。多気駅が想定外の方角にあったからである。信号待ちのドライバーにお尋ねし、自分が誤っていることを確認する。橋の袂から 700m 位歩いた先に多気町の看板が見え、その先に多気駅 (15 時 38 分) があった。20 分～30 分ロスする。



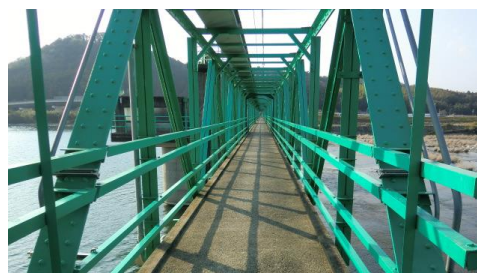
多気駅



櫛田川



第二相可踏切



また、ここからも先程の踏切方面に 500m 位進む。太陽の方角が変だと思い、たまたま自転車で対面した方に、松阪方面をお尋ねする。やはり、誤った方向に進んでいた。この多気は、鳥羽への参宮線と新宮への紀勢本線の合流に加え、櫛田川が絡み複雑な地形であった。しかも、鉄道に沿った歩道を見逃しそうにあり、今から考えても醍醐味のある区域であった。多気駅には 15 時 58 分に戻る。ここでも 20 分ロスする。16 時、第二相可踏切を横切り、櫛田川の土手 (16 時 10 分) に出る。1 km 位土手を歩く。その先にグリーン色の歩道橋 (16 時 39 分) を渡る。しかし、この橋は、頭首工管理用通路で歩道があるとは気がつかない。これを見逃せば、橋は数キロ先になろう。土手に上ったのが大正解であった。胸をなで下ろす。



牛舎



徳和駅への路

16 時 23 分、牛舎前を通過。16 時 28 分、県道 701 号（御麻生園豊原線）松阪市山添町を通過。その先を左折する。鉄道が左方向の森に消えたからである。ここでも、車に乗ったドライバーに確認する。通行人とは対面しそうでないからだ。16 時 4 分、山道を歩く。念のためスマホでナビを出す。途中、左手に鉄道を見つける。ナビに従って歩く。もし、ナビがなければ、徳和駅は難しかったかも知れない。17 時 33 分、徳和踏切を横切る。鉄道の左側となる。やっと、17 時 34 分、徳和駅に到着。



徳和駅



松阪駅近郊の西日

この駅も駅舎が見えるが、川等の障害物があり到着できなかったであろう。駅前には、沢山の自転車があった。17 時 41 分、神戸（かんべ）保育園前を通過。17 時 50 分、日没寸前の夕日をデジカメに収める。18 時 2 分、神戸神社前を通過。鉄道の左側を黙々と歩く。18 時 24 分、東横インを遠くに捉える。18 時 29 分、松阪駅に到着。松阪駅の汽笛亭で昆布蕎麦を夕食に摂る。本日は、“すずやん”がお休みのため、ホテルで晩酌とする。ホテル（222 号室）には 19 時 3 分到着。本日の営業キロは、22.9 km、万歩計は 58,943 歩であった。これで、名古屋＝鳥羽がつながる。本日は伊勢神宮参拝に加え、多気での醍醐味あるウォーキングが楽しみ充実した一日であった。



松阪駅

第6節 5日目：3月24日（月）：伊良湖岬観光他 快晴

昨夜急遽、豊橋鉄道踏破に思いつく。すなわち、鳥羽から伊良湖岬に伊勢湾フェリーで渡り、そこからバスで三河田原まで行き、そこから 11.7 km 先の植田まで歩くコースである。それ故、伊勢湾フェリーや豊橋鉄道を調査する。伊勢湾フェリーは始発が 8 時 10 分、2 便が 10 時 50 分。また、豊橋鉄道の営業キロについても、次の通り調査する。

田原 18.0	神戸 17.1	豊島 15.6	やぐま台 14.0	杉山 12.7
老津 10.7	大清水 8.5	向ヶ丘 7.1	植田 6.3	

豊橋からの電車

豊橋 16 : 00 → 浜松 16 : 33
 浜松 16 : 36 → 熱海 19 : 14
 熱海 19 時 27 分 → 藤沢 20 : 29

松阪からの電車

松阪 5 時 20 分 → 多気 5 時 31 分
 多気 5 時 46 分 → 鳥羽 6 時 25 分



汽笛亭



松阪駅

目覚まし時計を3時50分にセットして、就寝につく。時間通り、3時50分、目覚ましになる。もし、モーニングコールしていないと3時50分には起きていないだろう。睡眠時間は短かったが熟睡できた。早速、チェックアウトの準備をする。このシリーズ、朝シャンというか朝風呂に入り、心身共に清め鉄道踏破に挑んだ。昨夜買った、菓子パンを朝食として、ホテルを5時チェックアウトし、21日、新宮に向かった電車と同じ電車で挑む。駅前の宣長まつりをデジカメに収め、松阪駅へ。



昨日、夕食で利用した汽笛亭もデジカメに収める。5時20分松阪始発の電車は、1番ホームの後方に2両編成で停車していた。5時10分頃、20m位動く。青春18きっぷ5枚目にスタンプを押してもらい、乗車する。多気駅で乗り換えする。多気駅で先頭に2両連結して4両編成となった電車は、5時44分、新宮に向かって発車する。5時46分発多気始発1両編成（ワンマンカー）で鳥羽駅に向かう。始発の電車は、田丸まで乗客は私一人であった。田丸駅で3～4人の乗車がある。宮川駅で朝日を拝顔する。初日と4日目に歩いた道のりを楽しみながら鳥羽駅へ。鳥羽駅には6時25分到着。2階の近鉄線乗り場の観光案内所でお土産を購入。駅で朝の鳥羽駅をデジカメに収めて、伊勢湾フリーの乗船場に向かう。6時41分、赤福の看板があった。鳥羽港までの風景は最高であった。2番目の信号を左折する。橋桁に絵画があったのでデジカメに収める。6時44分、鳥羽港めぐり観光船案内所前

を通過。ここで、伊勢湾には初めて数個の小島（答志島、菅島、神島等）があることを知る。6時46分、右手に近鉄賢島線の電車を捉える。6時47分、伊勢湾フェリーの乗船場が橋から見えて来る。その先にアシカがお腹を出している像があった。6時52分、鳥羽水族館前に到着。その先に伊勢湾フェリー乗り場（6時56分）があった。伊良湖までの始発は8時10分、乗り場への案内は7時35分頃とのことであったので、それまで30分位時間があつたので、鳥羽港を散策する。



車中より



鳥羽駅



鳥羽港への路



7時40分、フェリー乗り場2階で乗船券を購入する。豊橋まで、船・バス・電車で2,000円であった。伊良湖までの運賃は1,500円なので、500円位は割安であった。カウンターで聞いてよかった。この割安情報は、肥薩おれんじ鉄道以来である。ビル内で鳥羽丸や伊勢

丸をデジカメに収める。8時、鳥羽丸の乗船案内がある。フェリーに乗船するのは、昨年4月の桜島フェリー以来。フェリー内は桜島フェリーと似ていた。



鳥羽港



伊勢湾フェリー館内

8時10分出航で、55分の乗船時間であった。アナウンスで答志島2,800人、菅島800人の住人が住んでいたとのこと。神島についても説明がある。船からの鳥羽港、伊良湖の眺めは最高であった。平成22年7月24日(日)に微か向うに見えた鳥羽港が本日の乗船でつながった。価値ある選択であった。伊良湖岬には9時5分到着。10分の待ち合わせで、豊橋バスが待っていた。運転手さんに聞くと、豊橋着は10時17分とのことであった。4年前の第39回わいわい会が懐かしく感じられた。駅前の風景を中心に時々見覚えのある風景が時々登場したので。



船内

平成26年4月1日現在

鳥羽～豊橋(フェリーとバス・電車)乗継時刻表

鳥羽 → 伊良湖		待時間	伊良湖 → 豊橋		お得な通し乗船券 大人 2,000円 小人 1,000円 ※伊良湖～豊橋間(バス)途中下車は別途乗効
平日	★0:10	伊良湖	★0:10	豊橋	
8:10 → 9:05	1:10	10:15 → 12:01	10:15	12:01	
9:30 → 10:25	1:08	11:33 → 13:19	11:33	13:19	
10:50 → 11:45	0:48	12:33 → 14:19	12:33	14:19	
12:10 → 13:05	0:28	13:33 → 15:19	13:33	15:19	
	1:28	14:33 → 16:19	14:33	16:19	

鳥羽 → 伊良湖		待時間	伊良湖 → 田原駅前		三河田原 → 渥美線
鳥羽発 13:40以降の乗船の場合は、田原駅でバスから電車に乗り換えが必要です					
13:40 → 14:35	1:13	15:48 → 16:37	16:47		
15:10 → 16:05	0:43	16:48 → 17:39	17:47		
		17:48 → 18:39	18:47		



伊良湖



三河田原駅



神戸駅

＜ご参考＞ 豊橋鉄道（三河田原～植田）の旅記録

三河田原(10:17)～神戸(10:51)～豊島(11:17)～やぐま台(11:56)～杉山(12:17)～老津(12:58)～大清水(13:45)～向ヶ丘(14:17)～植田(14:39)

予定通り、豊橋鉄道の三河田原駅には 10 時 17 分に到着。懐かしい三河田原駅をデジカメに収めて、900m先の神戸駅（かんべ）を目指す。駅員さんに神戸駅の道筋を聞いて臨む。川が絡み難いと思ったからだ。電車は桜模様の電車が、三河田原駅に停車していた。10 時 29 分、20 歩の桜橋を渡る。暫く遊歩道を歩き、45 歩あるふれあい橋（10 時 32 分：海拔 3.3m）を渡る。工事中であった。神戸駅には 10 時 51 分到着。この駅に到着する少し前、3 両編成の電車が離合していた。11 時 2 分、踏切を横切り、鉄道の左側に。林が茂る道筋を歩く。11 時 17 分、八柱神社があった。その目と鼻の先に、豊島駅（としま：11 時 17 分）があった。鉄道に沿って歩く。11 時 37 分、杉山 10 号踏切辺りで上り電車がやってくる。なお、豊橋鉄道は 10 種類の花の名がつく車両とのことであった。



豊島駅

桜（1809号）、つつじ（1803号）、ばら（1801号）、
菊（1810号）、菜の花（1807号）、しでこぶし（1806号）、
椿（1808号）、ひまわり（1804号）、菖蒲（1805号）、
はまぼう（1802号）

11時47分、岩崎神社前を通過。沿線の桜並木はつぼみの状態。11時48分、キャベツ畑前を通過。11時49分、右手に豊橋鉄道を見ながら歩く。11時56分、やぐま台駅に到着。



やぐま台駅 杉山駅

ここから、1.3 km先の杉山駅にかけ、下校中の中学生と対面する。沢山の中学生から挨拶される。非常に感動する道中であつた。12時11分、赤と青の電車が停車している杉山駅を視界に捉える。12時17分、杉山駅に到着。12時25分、春爛漫のカラフルな花畑前を通過。12時34分、海拔3 mの豊橋市を通過。37歩ある境橋（紙田川）を通過。



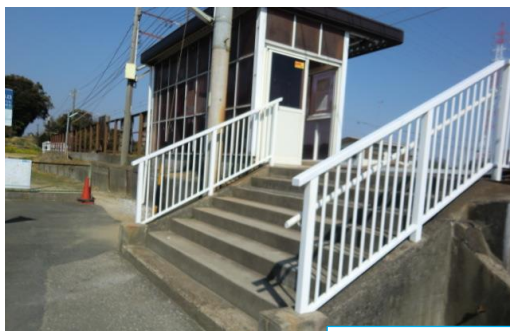
老津駅

12時58分、老津（おいつ）駅到着。この辺りは海拔6 mであつた。鉄道に沿って桜並木が続く。ここから2.2 km先の大清水駅にかけ、ビニールハウスが続き、迂回を余儀なくされる。「元気だよ 桜咲かすぞ 老津かな」 13時13分、踏切を横切り、鉄道の右側に。13時22分、キャベツ畑を通過。この辺りは鉄道に沿ってビニールハウス村であつた。ビニ

- ルハウスには茄子の栽培がされていた。13 時 26 分、迂回した路から鉄道に近づく路へ。そして、道なりに歩いた先に大清水駅（おおしみず：13 時 45 分）があった。



大清水駅



向ヶ丘駅

この駅は豊橋鉄道の真ん中位にあった。13 時 57 分、豊橋市大清水地区体育館前を通過。14 時 3 分、高速道路下を越える。14 時 11 分、踏切を横切り、鉄道の左側に。14 時 17 分、向ヶ丘駅に到着。電車がやって来る。14 時 18 分、植田 6 号踏切を横切り、鉄道の右側へ。14 時 23 分、踏切を横切り鉄道の左側へ。14 時 30 分、豊橋市立南陵中学校前を通過。そして、平成 22 年 7 月 23 日（土）に見覚のある素盞鳴（すさの）神社前を通過。この神社の呼び名がわからないため、近くで畑を耕していた人にお伺いしてわかる。その先に植田駅（14 時 39 分）があった。



懐かしい神社



植田駅



終着駅の植田駅 豊橋駅

走れば、電車（桜号）にあったかもしれないが、1本遅らせることにする。仕上げをしたかったからだ。14時52分、椿号で豊橋駅へ。8時から21時までは15分間隔でダイヤが組まれていた。芦原駅で離合（ひまわり号）する。豊橋駅には15時12分到着。駅構内のCaféDanmarkで軽食とする。15分位休憩。



豊橋駅

豊橋 15時41分の電車で自宅へ。豊橋駅で横浜在住の中野菊栄（さかえ）さん、戸塚在住の新井朝子（ともこ）さんと藤沢までご一緒させて頂く。非常に充実した時間を費やすことができる。お二人は私と同様、青春18きっぷと東横インを活用し、4泊5日で岡山駅を基点に尾道、呉、赤穂等を旅行したとのことであった。浜松からは、次の通り、電車を乗り継いで藤沢まで移動する。

浜松 16時36分→ 熱海 19時14分

熱海 19時27分 → 藤沢 20時29分

自宅には、21時38分到着。本日の営業キロは11.7km、万歩計は23,214歩だった。5日の営業キロは94.5kmで先ず先ずの成果を上げることができ大いに満足。これで、名古屋＝鳥羽間がつながる。また、わいわい会で中途半端で終わっていた豊橋鉄道が、今回の歩きで豊橋＝三河田原（18km）がつながり満足。加えて、新宮＝多気間も何となく近い将来できるとの自信を深め、大いに収穫があるシリーズであった。